

会 議 録

1 会議名

- ・令和3年度第7回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 報告事項（公開）

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について
- ・上越市過疎地域持続的発展計画(案)について
- ・照明設備（清里中学校屋外運動場）の廃止について

2) 協議事項（公開）

- ・自主的審議事項に関する協議について

3 開催日時

- ・令和3年9月30日（木）午後3時から午後4時20分まで

4 開催場所

- ・清里区総合事務所 第3会議室

5 傍聴人の数

- ・1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）の氏名（敬称略）

- ・委員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、桑原正史、佐々木勝峰、竹田恵理子、羽深正、保坂幸男、堀川敏子、松永誠一、向橋マチ子
- ・事務局：清里区総合事務所：保倉所長、浅野次長、西山市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長 ※以下グループ長はG長と表記）、竹下地域振興班長、田村主査

8 発言の内容（要旨）

【浅野次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・笹川重作委員、横山芳一委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告する。

【古澤文夫会長】

・挨拶。

【保倉所長】

・挨拶。

【古澤文夫会長】

会議録の確認を向橋マチ子委員にお願いする。

次第4「報告事項」地域協議会に関する意識調査結果を受けた取組について、事務局に説明を受けた後、清里区地域協議会において、今後取り組んでいく内容について話し合いを行う。

【浅野次長】

・資料1により説明する。

【古澤文夫会長】

前期の委員の意識調査結果に基づいて、「市が取り組むこと」と「各地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと」について、それぞれア、イ、ウの3つに区分し、地域協議会に対して、ア「意見交換について」、イ「会議運営について」、ウ「情報発信について」、今後の取組について検討依頼があった。

この検討結果は、後日開催される地域協議会の会長会議で情報共有される予定である。清里区ではすでに実施している取組もあるが、1つ1つ内容を見て検討していきたいがよいか。

(委員了承)

【古澤文夫会長】

それでは、ア「意見交換」についていかがか。資料1の2ページの下の方に記載されているようなことをどのように進めていけばよいか、皆さんの意見を伺いたい。

数年前に、町内会長連絡協議会や老人クラブ連合会といった団体と意見交換をしたことはあるが、この団体と話し合いたいとか皆さん希望等はあるか。

【山川正平副会長】

これから地域の自主的審議事項を決めていかなければならないわけだが、それを決めるにあたって清里区にどのような問題があるかを知るには、町内会長連絡協議会とか町内をよく知っている人達と情報交換や意見交換をする必要があると思う。

【保坂幸男委員】

課題に気付くとかそういうことについて、自分のようにあまり外に出ていないと何が課題なのか分からない。自分が困っていることは分かるが、他の人のことは分からない。地域のことがよく分かる人は町内会長だと思うので、そういう人と話し合いを持てればと思う。

【古澤文夫会長】

自主的審議事項も、ただこれをやりますというのではなく、いろいろ話を聞いて勉強をしなければならない。

【羽深正委員】

新型コロナウイルスの問題があるので、来年はどうなるか分からないが、今のところは意見交換は難しいのではないかと。

【古澤文夫会長】

今のところは、意見交換は難しいかもしれない。

【佐々木勝峰委員】

過疎と高齢化は清里区だけでなく上越市でも問題になってくると思う。一人暮らしや高齢者を担当しているのは民生委員なので意見交換を求めることは必要だと思う。

【古澤文夫会長】

他に意見等はないか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

では、次にイ「会議運営について」、現在清里区では、平日の午後3時から会議を開催しているが、会議の運営方法について、意見等はあるか。

【佐々木勝峰委員】

地域協議会委員になって2年目だが、開催時間が午後3時からというのは中途半端だと思っていた。前に地域協議会委員をされていた方から、以前は午後6時くらいから会議を始めていたが、特に女性からの意見で午後6時からというのは夕飯時で忙しいということでこの時間になったと聞いているがどうなのか。

【古澤文夫会長】

今まで、夜に協議会を開催することはなく、午後1時半から開催していた。しかし、午後1時半に開催しても1時間で会議が終わってしまうこともあるので、数年前から午後3時からの開催とした。

【向橋マチ子委員】

平成17年度に地域協議会ができて、11年間は午後1時半からの開催であった。女性は夕食の準備等で忙しいこと、また冬期間、赤池や青柳の委員の帰宅が心配ということで夕方の開催ではなく午後3時からの開催になった。女性は家事や子どもの学校の迎えの時間に重なることから、会議の最後まで参加できないということもあるので、皆さんがこれまでどおり午後3時からの開催でよいということであれば今までどおりでよいのではないかと。

【古澤文夫会長】

他にいかがか。

委員の中に若い人がいれば、仕事が終わってからということがほとんどで、開催は夜になってしまう。今、開催時間を決めなければいけないということではない。他に会議の進行についていかがか。資料1にあるように、意見が出しづらいという意見もあるが、そういった意見も含めてどうか。できるだけ皆さんの意見を聞くように指名をさせていただいている。

【堀川敏子委員】

昼食の後片付け等の後、余裕をもって出席できるので、私は午後3時からの開催でよいと思う。

【古澤文夫会長】

午後3時からの開催であるが、なるべく午後5時までに終了できるように心掛けている。地域活動支援事業の審査であれば、開催時間を早めなければならないが、会議の開始時間については今までどおり午後3時からでよいと考えている。

皆さんから意見を出していただく方法について、もう少しこうすれば意見が出るのではないかと、他の意見でもよいが会議の運営について何か意見等はないか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

最後に情報発信について、主に地域協議会だよりについて、紙面づくりの工夫に取り組みよう検討を求められている。もっと委員の意見を反映したらどうか、委員独自で作成してもらったらどうかなど様々な意見があった。清里区の地域協議会だよりは、会議の報告が主であるが、地域活動支援事業の報告や自主的審議事項などいろいろな話題があれば活発な紙面になると思う。

【山川正平副会長】

情報発信といっても、時候の挨拶くらいなら紙面は埋まるが、それをそれぞれの委員が投稿するとなるとどうかと思う。視察研修などそういういった機会があれば掲載することもできるが、文章を書くのが得意な人ならよいが、200文字書くのもやっとなのである。

【古澤文夫会長】

他にいかがか。地域協議会だよりについても、今までどおり内容を特別に充実させることはしないで今までどおりということによいか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

全体で意見等はないか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

それでは、今出していた意見を事務局で整理して、清里区地域協議会の結果として、自治・地域振興課へ報告することによいか。

(了承)

【古澤文夫会長】

次に、第5回と第6回の地域協議会でそれぞれ答申した「諮問第61号 上越市過疎地域持続的発展計画(案)の廃止について」及び「諮問第62号 照明設備(清里中学校屋外運動場)の廃止について」、資料2と資料3のとおり通知があったことを報告する。

次に、次第5「協議事項」に入る。最初に、前回の協議会で、事務局から「消防組織」と「放課後児童クラブ」について説明を受けることになっていたので説明を求める。

【浅野次長】

・消防組織について、当日配布資料1により説明する。

【西山G長】

・放課後児童クラブについて、当日配布資料2により説明する。

【古澤文夫会長】

ただ今の事務局からの説明について、質問等はあるか。

放課後児童クラブについて、堀川委員何か質問等はあるか。

【堀川敏子委員】

コロナ禍の中で、児童1人当たりの専用区画面積が1.65㎡というのは十分なのか不安である。また、有資格者を配置となっているが、具体的にどのような資格なのか。

【西山G長】

教員や保育士、社会福祉士のほか、これらの資格がなくても5年以上の勤務経験があればよい。なお、有資格者であっても県が実施する研修を受講しなければ支援員にならない。

【堀川敏子委員】

私は、子ども同士の間人間関係を見ながらきめ細かな対応をするということは、大きなエネルギーが必要であり、大変なことであるということを地域の皆さんに伝えたい。

【佐々木勝峰委員】

具体的にどういうことなのか。私は実態が全く分からないのだが、それほど大変なのか。

【堀川敏子委員】

学年が異なる子ども達や特に配慮を必要とする子どもが同じ部屋にいる。そのような環境の中で、そういう人間関係を見ながら子ども達の相手をしている支援員の苦労はものすごいものだと感じている。

【佐々木勝峰委員】

要するに堀川委員がおっしゃりたいことは、今の職員数やスペースでは足りないということか。

【堀川敏子委員】

現状がそれでよいのか非常に不安である。

【佐々木勝峰委員】

不安に思っていることを意見としてしっかり発言されたらどうか。小学校にはスペースがあるので、提案をすればスペースを広げてもらえるかもしれない。

漠然とした意見ではなく、放課後児童クラブにはこのような問題があるということを出して、この問題をどのように解決していけばよいのかということの一つ一つ話し合っていかなければならないと思う。

【古澤文夫会長】

放課後児童クラブの説明に対する質問はこれくらいにして、次に自主的審議事項についての協議に入る。

前回、出席された委員の皆さんから一人一人意見をいただいたので、欠席した委員からも意見をいただきたいと思うが、桑原委員いかがか。

【桑原正史委員】

今月、テレビで「無印」がやってくる！あなたの街にも…」という特集をしていて、全国3ヵ所の事業展開を紹介していた中の一つが上越市だった。

無印商品はおしゃれな商品が多いが、ある地区で高齢者が野良着や天ぷらは売っていないのかという話があって、それなら無印の車以外にスーパーの惣菜販売などを地域の広場にまとめてみてはどうかということで事業を展開していた。

私が思ったのは、清里区内でも以前は各町内に1つは小さなお店があり、そこには食料品など何でも買えて、ついでにお茶飲みができる場所があったが、ほとんどなくなってしまった。朝市や坊ヶ池のカフェはあるが、他にも定期的にできるものがあればよいと思っている。

【古澤文夫会長】

竹田委員どうか。

【竹田恵理子委員】

桑原委員がおっしゃったように、憩いの場という場所があったらよいと思うし、無印商品やセブンイレブンなど移動販売もよいことだと思っている。

最近思うことは、世代が若くなるにつれて近所同士の交流が段々と薄くなっているのではないかということである。私達の世代だと働き盛りなので、近所と交流を持ってないという人も多いと思うが、私達の世代から交流を持っていかないと、お年寄りになった時に近所の方と交流もなくなって、一人暮らしになった時に誰かに頼るということもできなくなってしまうのではないかという思いがあるので、交流ができるようなそういうことができればよいと考えている。

【古澤文夫会長】

羽深委員どうか。

【羽深正委員】

東戸野の「みちくさ」のような店が所々にあればよいと思う。物を買に行きに行くだけではなく誰かがいる、お茶を一杯飲めるという感じでもよいと思う。そういう所があればよいと思う。

【古澤文夫会長】

前回の会議を含めて、いろいろな意見を出していただいた訳だが、ここで一つにまとめることは難しいと思う。参考に皆さんのお手元に上越市地域協議会の手引きの中にある「自主的審議事項とは」の部分を資料として配布したが事務局から説明はあるか。

【田村主査】

- ・自主的審議事項について、当日配布資料3により説明する。

【古澤文夫会長】

山川副会長と相談し、全体で一から話し合うのではなく、一つは福祉や教育、文化などについて、もう一つは防災や交通、鳥獣などについて話し合うグループを作り、皆さんからは関心のあるグループへ入っていただき、今後の進め方等も含め話し合いをしてはどうかということになったが皆さんどうか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

次の協議会までに、どちらのグループに入るか考えていただきたい。

次に次第6「その他」に入る。皆さんから、何かあるか。

(意見等なし)

【古澤文夫会長】

ないようなので、以上で第7回地域協議会を終了する。

最後に山川副会長から、閉会の挨拶をお願いします。

【山川正平副会長】

- ・閉会の挨拶。

9 問合せ先

- ・清里区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

- ・別添の会議資料も併せてご覧ください。